



5月ほけんだより

平成27年4月28日
富士わかば保育園

季節外れ?のインフル(B)流行の4月でした。天間地区中心の流行だったようですが、うさぎ~ぞうさんまで広がりました。現在はおさまりましたが溶連菌感染症の報告もあり、ちょうど年度始めの疲れている時期と重なっていますので、もうしばらくは注意したいところですね。

内科健診(前期)終了しました

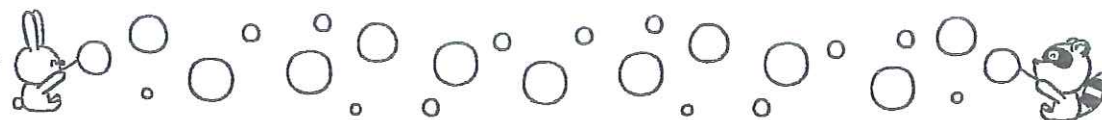
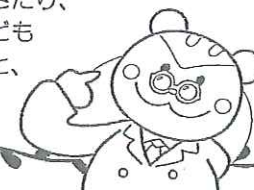
♪こんなことを診ています♪

- 今回はちょっと…体調不良以外でのお休みが多かったです
お休みしたお友達には「内科健診を欠席したお友達へ」を配布しました
期日までに受診をお願いします
- 保護者の方が以前から職員に相談していた内容や、園が心配している内容などを、この機会に医師に相談をすることがあります。手帳にコメントをしたお友達もいますし、今後直接、保護者にお伝えしたいお話のあるお友達もいます
何かありましたら遠慮なくお申し出ください
- 健診はさっぱり並んで緊張して…という雰囲気にならないようにしています。
医師と子どもの会話があたり、医療器具を子どもが触れることもできたり、担任の配置もクラスの子どもすべてに手が届くようにと、配慮しています

内科健診では、「風邪くらいしか診ていない?」「風邪ひいていたのに、異常なして?」と思われるかもしれません。

- ・ 聴診(聴診器で、もしもし…)
肺音・心音が中心です
- ・ 耳を診ます(聞こえているかな?)
耳垢、炎症を中心に(子どもは風邪をひくと耳のトラブルが、おとなよりずっと多い!)
- ・ 1歳前の子どもは…
反射、身体の動き、発達、お腹の中は?など
上記にプラスして、何か病気が潜んでいないかと特に丁寧に全身を診ます

検査していないのにわかるの?と思われるかもしれませんが、経験の長い医師の特にすごいところは、診て、聴いて、触っての観察力や技術力!この点では今、わかばはとても怠まれているんじゃないかと思っています。



尿・ぎょう虫検査

● 回収場所 ●

検査セット配布予定日は…

5月7日(木)です!

もし長期お休み予定等で受け取りに心配がある場合は早くお渡しできますので、お申し出ください

● 尿検査

(対象: ひつじさん~ぞうさん)

5月13(水)・14(木)

● ぎょう虫検査

(対象: 全園児 + 一時保育)

5月11日(月)~15日(金)

玄関ほけんコーナー前

(前日夕方から設置します)

※ 尿は朝、採取してください

※ 尿は午前中(10時まで)のみ受付けます。夕方持参された場合は採りなおしとなります

※ ぎょう虫検査は検査セットを配布後、採取できた時点で提出しても大丈夫です

忘れ物はないですか?

外遊びが増えるこの季節。

子どもたちが、清潔な園生活を過ごせるように、ハンカチ、着替え(半袖の準備も早めに!)、歯ブラシ、コップ、行事にあわせた服装などの忘れ物をしないよう、登園前の確認をお願いします

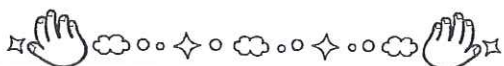
(小さいうちは大人の責任。2階のお部屋になったら少しずつ、ひとつずつ、自分でできるようなかわかりましょうね)



爪はきれいかな?



どろんこ農園・だっくす食ん太くんなど、目の前のことに熱中しては爪の中まで汚れやすい子ども達の生活。また子どもの爪は薄くて非常に割れやすいですね。



小さいクラスでは、子どもどうしのやり取りの中で、お友達を傷つけてしまうこともあります。傷ついたお友達も、傷つけたお友達も、そして保護者の方も…お互いにつらいものなので、おとながしっかり気をつけて、週に一回は切ってもらいましょうね。

- 5月に入ると急に気温が上がり、熱中症が気になってきます。
お散歩にはいつもお茶を持参しますが、その他にもこんべいとうを食べる、帽子を忘れずにかぶらせるなど、注意していきます。
また、朝ごはんを食べてこない・夜寝るのが遅いなども熱中症のリスクを上げますので、ご家庭でも規則正しい生活を併せてご協力ください
- 6月上旬くらいに、園で2階のお友達は視力検査をします。3歳児検診前も軽く練習をしていると思いますが、年々、年少~年中のお友達で視力検査が難しいお友達が増えています。
ご家庭でも時々、練習をしてみてください



● 今回のインフルエンザでは、入園式があったり、症状が軽いケースが多かったりと、広がる原因が盛りだくさんでした。
4/27からは患者数が0名になっています。
軽症の場合や検査結果陰性の場合も、多くのご家庭で早く早退・受診など、ご協力いただきました。
本当にありがとうございました。

● ウエス、おもちゃなど様々なご協力を、いつもありがとうございます!

● 水いぼ、特に1階のクラスで複数名、ポツポツとたくさんあるお友達がいます。まだこの時期は治療を勧めていませんが、あまりひどいと、同室の皆さまが心配になります。
肌荒れは増える要因。
肌ケアだけは毎日続けましょうね

